

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

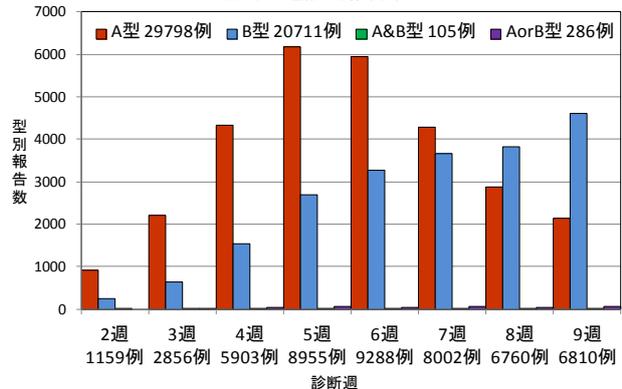
2016年9週の県全体の定点当たり報告数は、8週の33.02から増加し33.62となった。依然として報告数が多い状態が継続しており、注意が必要である。

保健所別では、16保健所中8保健所管内で増加し、松戸(43.72)、海匝(40.14)、印旛(39.46)、市原(38.73)、山武(36.75)、夷隅(35.20)、船橋市(34.24)が多かった。

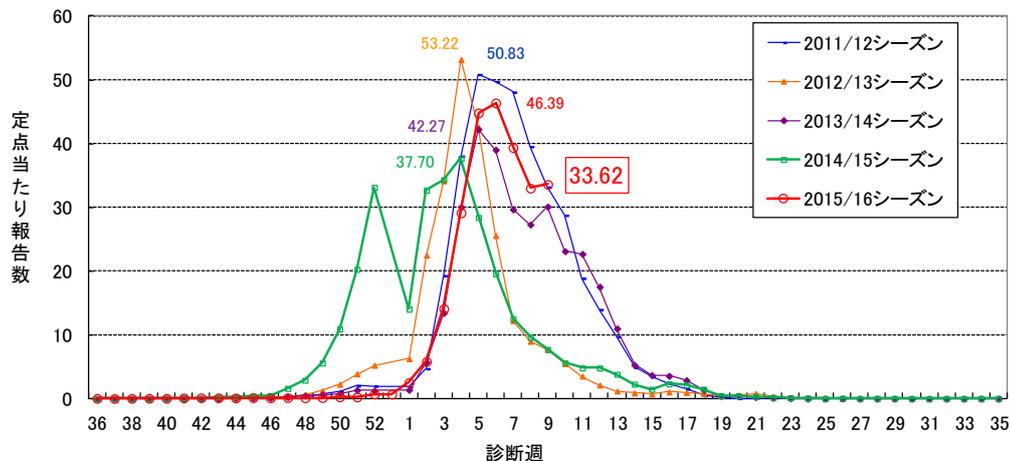
2015/16シーズン全体の年齢群別報告割合は、5～9歳34.5%、0～4歳18.1%、10～14歳16.4%が多い。

2016年9週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、6,810例中A型2,133例(31.3%)、B型4,615例(67.8%)、A and B型8例(0.1%)、A or B型54例(0.8%)で、8週と比較するとB型は増加し、A型は減少した。2015/16シーズン合計では、50,900例中A型29,798例(58.5%)、B型20,711例(40.7%)、A and B型105例(0.2%)、A or B型286例(0.6%)であった。

2015/16シーズン千葉県におけるインフルエンザ型別迅速診断報告数



千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

